

令和4年8月5日

令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果の概要

総務省から、7月22日（金）に公表された「令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果」の本県分の概要については、次のとおりです。

【今回のポイント】

○通勤・通学者の特徴

- 1 他の市町村（他県含む）への通勤・通学者の割合は、舟橋村(75.5%)、立山町(59.9%)、上市町(59.5%)の順に高く、富山市が11.0%で最も低い。
- 2 通勤・通学による市町村間の流入・流出人口をみると、富山市は県内一円から、高岡市は呉西地区から流入。

○昼間人口と夜間人口

- 1 富山県の昼夜間人口比率は99.8で、平成27年（前回調査）と同じ。
- 2 流出人口・流入人口とも石川県が約7割を占める。
- 3 市町村別の昼夜間人口比率は、黒部市(106.8)、富山市(105.7)が高い。

1 通勤・通学者数

他の市町村（他県含む）へ通勤・通学している者は、県全体では 29.3%であり、市町村別にみると、舟橋村、立山町、上市町の順に高く、富山市が最も低い。（表 1）

表 1 通勤・通学者(自宅での従業者除く)の従業地・通学地(令和 2 年)

(単位：人)

	夜間(常住)人口	通勤・通学人口	同一市町村内で従業・通学人口・割合		他市町村で従業・通学人口・割合	
			人口	割合	人口	割合
富山市	413,938	253,056	225,167	89.0%	27,889	11.0%
高岡市	166,393	98,357	65,742	66.8%	32,615	33.2%
魚津市	40,535	23,306	12,967	55.6%	10,339	44.4%
氷見市	43,950	24,482	14,353	58.6%	10,129	41.4%
滑川市	32,349	20,146	9,289	46.1%	10,857	53.9%
黒部市	39,638	23,749	15,866	66.8%	7,883	33.2%
砺波市	48,154	30,025	15,787	52.6%	14,238	47.4%
小矢部市	28,983	16,657	9,201	55.2%	7,456	44.8%
南砺市	47,937	27,148	18,123	66.8%	9,025	33.2%
射水市	90,742	55,992	30,999	55.4%	24,993	44.6%
舟橋村	3,132	2,141	524	24.5%	1,617	75.5%
上市町	19,351	11,031	4,465	40.5%	6,566	59.5%
立山町	24,792	14,861	5,955	40.1%	8,906	59.9%
入善町	23,839	13,591	7,191	52.9%	6,400	47.1%
朝日町	11,081	5,709	2,705	47.4%	3,004	52.6%
県計	1,034,814	620,251	438,334	70.7%	181,917	29.3%

注) 不詳補完値により算出

2 昼間人口^{注1}と夜間人口^{注2}

(1) 富山県の状況

① 昼間人口は夜間人口より 1,935 人少ない。

富山県の昼間人口は 1,032,879 人で夜間（常住）人口に比べて 1,935 人少なく、**昼夜間人口比率^{注3}は平成 27 年と同じく 99.8**となった。平成 27 年と比べると、常住（夜間）人口が 31,514 人の減少（△3.0%）に対し、昼間人口は 31,308 人の減少（△2.9%）となっている。（表 2）

注 1 昼間人口：従業地・通学地による人口 買物などに伴う非定常な移動によるものは含まない。
注 2 夜間（常住）人口：調査の時期に調査の地域に常住している人口
※ 昼間人口=夜間人口-流出人口^{注4}+流入人口^{注5}
注 3 昼夜間人口比率：昼間人口/夜間人口×100
注 4 流出人口：他地域への通勤・通学者数
注 5 流入人口：他地域からの通勤・通学者数

表 2 富山県の昼間人口、夜間(常住)人口及び昼夜間人口比率

(単位：人)

年次	夜間(常住)人口 A	他県への通勤・通学者(流出) B	他県からの通勤・通学者(流入) C	流出・流入の差引 D (C-B)	昼間人口 E (A+D)	昼夜間人口比率 E/A×100
令和 2 年	1,034,814	10,484	8,549	△ 1,935	1,032,879	99.8
平成27年	1,066,328	11,743	9,602	△ 2,141	1,064,187	99.8
差引(R2-H27)	△ 31,514	△ 1,259	△ 1,053	206	△ 31,308	0.0

注) 不詳補完値により算出

②流出人口・流入人口とも石川県が約7割を占める。

流出・流入人口のうち「通勤」が流出では約7割、流入では約9割を占める。

流出先は石川県（富山県に住み石川県に通勤・通学している者）が約7割、流入元についても石川県（石川県に住み富山県に通勤・通学している者）が約7割を占めている。（表3）

表3 流出・流入人口の内訳(令和2年)

(単位：人)

区分	流出	うち石川県		流入	うち石川県	
		人数	割合		人数	割合
通勤	7,037	5,266	(74.8%)	6,940	5,039	(72.6%)
通学	2,758	1,861	(67.5%)	816	429	(52.6%)
計	9,795	7,127	(72.8%)	7,756	5,468	(70.5%)

(2) 市町村別の状況

①昼間人口は、舟橋村のみで増加、他の14市町で減少

昼間人口を平成27年と比べると、増加したのは、舟橋村（65人、3.0%）のみで、他の14市町では減少した。減少人口が最も大きかったのは高岡市で7,165人（△4.2%）、次いで富山市が5,544人（△1.3%）となっている。（表4）

表4 市町村別昼間人口及び夜間(常住)人口(令和2年)

(単位：人)

	夜間(常住)人口 A	増加人口 R2~H27	他市町村への通勤・通学者(流出) B	他市町村からの通勤・通学者(流入) C	流出・流入の差引 D(C-B)	昼間人口 E(A+D)	R2~H27	
							増加人口	伸び率
富山市	413,938	△ 4,748	27,889	51,468	23,579	437,517	△ 5,544	△1.3%
高岡市	166,393	△ 5,732	32,615	30,633	△ 1,982	164,411	△ 7,165	△4.2%
魚津市	40,535	△ 2,400	10,339	9,246	△ 1,093	39,442	△ 2,875	△6.8%
氷見市	43,950	△ 4,042	10,129	3,571	△ 6,558	37,392	△ 3,378	△8.3%
滑川市	32,349	△ 406	10,857	9,040	△ 1,817	30,532	△ 346	△1.1%
黒部市	39,638	△ 1,353	7,883	10,585	2,702	42,340	△ 2,025	△4.6%
砺波市	48,154	△ 846	14,238	11,583	△ 2,655	45,499	△ 1,230	△2.6%
小矢部市	28,983	△ 1,416	7,456	7,780	324	29,307	△ 682	△2.3%
南砺市	47,937	△ 3,390	9,025	8,350	△ 675	47,262	△ 3,243	△6.4%
射水市	90,742	△ 1,566	24,993	22,119	△ 2,874	87,868	△ 830	△0.9%
舟橋村	3,132	150	1,617	725	△ 892	2,240	65	3.0%
上市町	19,351	△ 1,579	6,566	4,573	△ 1,993	17,358	△ 1,124	△6.1%
立山町	24,792	△ 1,525	8,906	4,783	△ 4,123	20,669	△ 994	△4.6%
入善町	23,839	△ 1,496	6,400	3,974	△ 2,426	21,413	△ 705	△3.2%
朝日町	11,081	△ 1,165	3,004	1,552	△ 1,452	9,629	△ 1,232	△11.3%

注) 不詳補完値により算出

②昼夜間人口比率が最も高いのは黒部市、最も低いのは舟橋村

昼夜間人口比率を市町村別にみると、黒部市が 106.8 と最も高く、次いで、富山市が 105.7、小矢部市が 101.1 などとなっている。

一方、舟橋村が 71.5 と最も低く（比率の低さで全国 7 位）、次いで、立山町が 83.4、氷見市が 85.1 などとなっている。

平成 27 年と比べると、増加したのは、入善町(2.5 ポイント)、小矢部市(2.5 ポイント)、上市町(1.4 ポイント)の順となっている。

また、減少したのは、朝日町(△1.8 ポイント)、舟橋村(△1.4 ポイント)、黒部市(△1.4 ポイント)の順となっている。

(表 5)

表 5 市町村別昼夜間人口比率

	R2	H27	R2-H27
富山市	105.7	105.8	△ 0.1
高岡市	98.8	99.7	△ 0.9
魚津市	97.3	98.6	△ 1.3
氷見市	85.1	85.0	0.1
滑川市	94.4	94.3	0.1
黒部市	106.8	108.2	△ 1.4
砺波市	94.5	95.4	△ 0.9
小矢部市	101.1	98.7	2.5
南砺市	98.6	98.4	0.2
射水市	96.8	96.1	0.7
舟橋村	71.5	72.9	△ 1.4
上市町	89.7	88.3	1.4
立山町	83.4	82.3	1.1
入善町	89.8	87.3	2.5
朝日町	86.9	88.7	△ 1.8

注) 不詳補完値により算出

③富山市は県内一円から、高岡市は呉西地区から流入

富山市と高岡市について、流入人口（15 歳以上）を常住地別にみると、富山市は県内一円から流入しており、一方、高岡市は呉西地区からの流入が 8 割以上となっている。（表 6）

表 6 富山市、高岡市への流入人口（15 歳以上）の常住地別内訳（令和 2 年）
(単位：人)

常住地	富山市への流入			高岡市への流入		
	計	通勤	通学	計	通勤	通学
富山市				3,661	3,415	246
高岡市	7,504	6,819	685			
魚津市	2,316	2,003	313	67	48	19
氷見市	1,008	846	162	5,964	5,437	527
滑川市	5,222	4,756	466	107	89	18
黒部市	1,481	1,152	329	40	27	13
砺波市	2,044	1,822	222	4,091	3,623	468
小矢部市	794	697	97	2,322	2,039	283
南砺市	1,029	909	120	1,753	1,435	318
射水市	11,212	10,143	1,069	9,269	8,263	1,006
舟橋村	1,028	915	113	23	20	3
上市町	3,737	3,372	365	67	59	8
立山町	6,339	5,817	522	83	69	14
入善町	808	571	237	29	20	9
朝日町	333	259	74	10	5	5
県内計	44,855	40,081	4,774	27,486	24,549	2,937
他県	3,119	2,536	583	1,308	1,228	80
合計	47,974	42,617	5,357	28,794	25,777	3,017

※県内 15 市町村間の流入・流出については付表参照

3 利用交通手段

(1) 富山県の状況

①自家用車だけの利用者の割合が79.5%（全国第3位）

②公共交通機関の利用者は、鉄道・電車が増加に転じる

15歳以上の自宅外通勤・通学者の利用交通手段について、「自家用車」だけの者が79.5%で、平成22年(前回調査)との比較では2.1ポイント増となっており、全国では山形県(80.6%)、秋田県(79.6%)に次いで第3位となっている。(表7)

表7 15歳以上自宅外通勤・通学者の利用交通手段

(単位:人)

利用交通手段	通勤・通学者数		割合	
	令和2年	平成22年	令和2年	平成22年
総数(不詳除く)	515,293	530,623	100.0%	100.0%
利用交通手段が1種類	493,070	507,360	95.7%	95.6%
うち徒歩だけ	25,454	27,333	4.9%	5.2%
うち鉄道・電車	18,155	17,305	3.5%	3.3%
うち乗合バス	4,745	5,146	0.9%	1.0%
うち自家用車	409,506	410,588	79.5%	77.4%
うち自転車	27,945	38,012	5.4%	7.2%
利用交通手段が2種類	19,682	21,089	3.8%	4.0%
うち鉄道・電車及び乗合バス	2,177	1,873	0.4%	0.4%
うち鉄道・電車及び自家用車	4,177	4,081	0.8%	0.8%
うち鉄道・電車及び自転車	6,089	7,705	1.2%	1.5%
うち乗合バス及び自家用車	586	470	0.1%	0.1%
うち乗合バス及び自転車	794	1,009	0.2%	0.2%
利用交通手段が3種類以上	2,541	2,174	0.5%	0.4%

なお、「自家用車」だけ及び公共交通機関の利用状況について平成2年以降の推移(利用交通手段については10年ごとの調査)をみると、「自家用車」だけは増加傾向が続いている。一方、公共交通機関の利用者については減少傾向が続いていたが、令和2年では「鉄道・電車」が増加に転じている。(表8)

表8 自家用車だけ、及び鉄道・電車、乗合バスの利用率の推移
(鉄道・電車、乗合バスは、他の交通手段との併用含む。)

利用交通手段	令和2年	平成22年	平成12年	平成2年
自家用車だけ	79.5%	77.4%	72.4%	58.9%
鉄道・電車	6.4%	6.3%	6.7%	9.3%
乗合バス	1.9%	1.9%	2.6%	5.3%

(2) 市町村別の状況

公共交通機関利用者の3分の2は、富山市を従業地・通学地とする者

常住地による市町村別に利用割合をみると、自家用車だけは氷見市、立山町、上市町、砺波市の順に高く、鉄道・電車は舟橋村、乗合バスは富山市が高くなっている。

一方、従業地・通学地による市町村別では、自家用車だけは黒部市、滑川市、上市町、氷見市の順に高く、鉄道・電車、乗合バスは、ともに富山市が高くなっている。

富山市は、自家用車だけの割合が常住地、従業地・通学地ともに最も低くなっている。また、県全体の公共交通機関（鉄道・電車、乗合バス）の利用者の3分の2は、富山市を従業地・通学地とする者となっている。（表9）

**表9 15歳以上自宅外通勤・通学者の利用交通手段別人数・割合
（自家用車だけ、鉄道・電車、乗合バス）（令和2年）**

（単位：人）

	常住地						従業地・通学地					
	人数			割合			人数			割合		
	自家用車 だけ	鉄道・電車	乗合バス	自家用車 だけ	鉄道・電車	乗合バス	自家用車 だけ	鉄道・電車	乗合バス	自家用車 だけ	鉄道・電車	乗合バス
富山県	409,506	33,120	9,930	79.5%	6.4%	1.9%	409,650	31,490	9,273	79.8%	6.1%	1.8%
富山市	156,786	13,994	6,008	75.5%	6.7%	2.9%	172,024	20,637	6,596	74.7%	9.0%	2.9%
高岡市	65,023	5,218	1,087	80.4%	6.5%	1.3%	65,415	4,624	998	81.3%	5.7%	1.2%
魚津市	15,273	1,176	212	82.2%	6.3%	1.1%	15,060	1,057	160	82.4%	5.8%	0.9%
氷見市	18,048	756	304	86.5%	3.6%	1.5%	12,753	214	136	86.3%	1.4%	0.9%
滑川市	14,019	1,366	125	82.7%	8.1%	0.7%	13,064	490	50	86.7%	3.3%	0.3%
黒部市	16,366	1,380	221	82.2%	6.9%	1.1%	19,315	771	181	87.1%	3.5%	0.8%
砺波市	20,927	1,183	303	83.7%	4.7%	1.2%	19,108	444	91	85.7%	2.0%	0.4%
小矢部市	11,762	919	193	81.6%	6.4%	1.3%	12,386	397	123	85.7%	2.7%	0.9%
南砺市	19,663	1,004	352	83.1%	4.2%	1.5%	19,202	518	175	84.9%	2.3%	0.8%
射水市	37,815	2,885	829	80.9%	6.2%	1.8%	36,196	1,196	621	83.9%	2.8%	1.4%
舟橋村	1,427	252	7	79.5%	14.0%	0.4%	734	40	1	83.9%	4.6%	0.1%
上市町	8,079	786	59	83.8%	8.1%	0.6%	6,472	307	18	86.3%	4.1%	0.2%
立山町	10,391	958	105	84.1%	7.8%	0.8%	7,056	334	63	84.6%	4.0%	0.8%
入善町	9,751	822	96	82.9%	7.0%	0.8%	7,893	321	44	84.3%	3.4%	0.5%
朝日町	4,176	421	29	81.9%	8.3%	0.6%	2,972	140	16	82.9%	3.9%	0.4%

注）鉄道・電車、乗合バスは他の交通機関との併用含む。

付表 通勤・通学による市町村間の流入・流出口（15歳以上）（令和2年）

常住地（表側）の市町村から従業地・通学地（表頭）の市町村へ通勤・通学したことを表している。

例1：富山市には、通勤・通学のために高岡市から7,504人、魚津市から2,316人・・・金沢市の1,092人を含む他県から3,119人流入した。

例2：富山市から、通勤・通学のために高岡市へ3,661人、魚津市へ1,612人・・・金沢市の1,324人を含む他県へ2,834人流出した。

（単位：人）

従業地・通学地 常住地	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	県内計	他県計	他県で最も多い 市町村・流出口
富山市	/	3,661	1,612	155	3,165	965	861	196	429	6,110	308	1,832	2,926	178	63	22,461	2,834	金沢市 1,324
高岡市	7,504	/	90	2,128	108	60	3,595	2,521	1,337	9,715	7	32	52	12	3	27,164	2,032	金沢市 1,246
魚津市	2,316	67	/	2	2,064	3,213	17	4	5	118	21	264	112	532	113	8,848	168	金沢市 51
氷見市	1,008	5,964	10	/	11	4	236	276	135	1,362	0	0	8	0	0	9,014	437	金沢市 142
滑川市	5,222	107	1,931	5	/	983	18	6	10	180	64	949	334	156	30	9,995	185	金沢市 54
黒部市	1,481	40	2,764	2	784	/	12	8	2	59	9	117	44	1,607	378	7,307	175	金沢市 50
砺波市	2,044	4,091	28	84	17	9	/	1,730	3,778	936	1	4	15	1	1	12,739	740	金沢市 474
小矢部市	794	2,322	10	80	6	2	1,464	/	1,108	348	0	2	8	1	0	6,145	1,013	金沢市 696
南砺市	1,029	1,753	13	43	10	6	3,318	1,344	/	337	0	3	7	2	1	7,866	928	金沢市 685
射水市	11,212	9,269	93	414	162	50	805	326	317	/	6	62	69	5	2	22,792	792	金沢市 436
舟橋村	1,028	23	38	1	111	22	3	0	3	49	/	132	155	6	0	1,571	18	金沢市 11
上市町	3,737	67	390	2	1,005	147	24	1	6	126	129	/	592	38	6	6,270	97	金沢市 48
立山町	6,339	83	188	6	475	106	23	4	18	146	126	761	/	27	6	8,308	125	金沢市 55
入善町	808	29	1,011	0	258	3,012	5	2	0	42	1	31	17	/	793	6,009	139	金沢市 37
朝日町	333	10	345	0	68	1,012	2	1	1	15	0	10	7	1,068	/	2,872	96	糸魚川市 32
県内計	44,855	27,486	8,523	2,922	8,244	9,591	10,383	6,419	7,149	19,543	672	4,199	4,346	3,633	1,396			
他県計	3,119	1,308	190	325	51	180	415	797	595	498	3	29	56	119	62			
他県で最も多い 市町村・流入人口	金沢市 1,092	金沢市 498	金沢市 32	七尾市 122	金沢市 7	糸魚川市 59	金沢市 178	金沢市 335	金沢市 314	金沢市 143	須坂市 ほか2 1	上越市 5	大町市 12	糸魚川市 80	糸魚川市 47			